

社会科学習指導案

単元名「世界の諸地域 アジア州」

令和6年10月 第1学年 指導者 武藤 光道

I 単元の構想

1 単元観

本単元は、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説社会編における「（1）世界のさまざまな地域」の項目「ウ 世界の諸地域」の「（ア）アジア州」にあたる。「各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それを基に主題を設けてそれぞれの州の地域的特色を理解させる」とある。また、主題の設定においては指導者によって設定されるものであるとされていることから、教科書の主題に沿って本単元の追究する主題を「急速な経済成長」とする。

アジア州の範囲は広大であり、中国や韓国など身近に感じられる東アジアから、カザフスタンやウズベキスタンのように一般的な中学生には位置の把握さえ難しい中央アジアまで様々な国が含まれる。世界の総人口の約6割が生活していることから、民族・産業・生活・文化など様々な面で多様性に富んだ地域であると言える。

本単元は、基礎的・基本的な知識を習得するとともに、それらの知識を活用して「急速な経済成長を追究する」ことでアジア州の地域的特色を明らかにすることのできる単元である。また、多様な言語や文化をもつアジア州についての理解を深め、成長していくアジア州の地域的特色を捉えることで、アジアの中の日本国民の一員としての自覚や態度を身に付けた見方や考え方を養うことができると考える。

2 研究との関わり

研究テーマは「主体的に学びに向かう生徒の育成～自ら探究したい課題の設定と、他者の考えに触れ自らの考えを深めたり広げたりする、協働的な学びを通して～」である。また、目指す生徒像として、「既習事項を基に自ら課題を見いだし、他者との交流を通して、課題解決に向けて探究できる生徒」とした。本研究テーマを設定した主な理由として、自校の生徒の実態から、以下の課題が挙げられる。①与えられた課題や活動等については取り組める生徒は多いが、生徒自ら課題を見付けたり、解決したりできる生徒が少ない。②話し合い活動において、自分の考えや意見を述べることが苦手な生徒が多い。このような課題を克服するために、生徒が解決したくなる課題の工夫と他者との協働的な学びが中心となる授業改善を図る必要があると考える。その手立てとして、単元を貫く課題を設定した上で、小単元ごとに生徒が気になる疑問を記入する「気になるシート」を作成し、毎時間蓄積した「気になるシート」から、生徒個々に課題を設定する。その際、話し合いの視点を明確にするために、「社会的な見方・考え方」を取り入れた小グループでの意見交流を行い、友達からのアドバイスを通して課題を再設定する。また、再設定した課題に対しての「予想」と「探究するための情報」についても小グループで検討する。さらに、単元のまとめとして、課題解決に向けて他者と協働しながら、様々な資料を活用しながら探究していく活動を取り入れていく。以上のような学習活動を展開することにより、生徒が興味関心をもって主体的に学びに向かう態度を養うことを目指す。

3 単元の目標及び生徒の実態

目標	生徒の実態
知識及び技能 ・多様な自然環境や文化、産業が見られるアジア州について、地域ごとにその特色を理解し、地域間の違いからアジア州全体の地域的特色を理解することができる。	・前単元では、複数の写真資料から読み取った世界各地の衣食住の特徴についてまとめる活動を行い、多くの生徒がその特徴をつかむことができた。ただ、主題図やグラフ等の資料を読み取る活動に対しては苦手な生徒が見られる。
思考力、判断力、表現力等 ・アジア州の国々が急速に経済発展していく理由を、人口増加や他地域との結び付きなどに着目し、多面的・多角的に考察し、自分の言葉で表現するこ	・前単元での様子から、自ら必要な情報にたどり着き、共通性や相違性等に気付き、ワークシートに書き取る技能は高いといえる。ただ、情報を整理

	とができる。	して分かりやすく他者に伝わるようにまとめ、表現を工夫する力は十分とは言えない。
学びに向かう力、人間性等	・急速な人口増加や経済発展等について、アジア州に暮らす人々に与える影響や、それによって生じる課題を、見通しをもち、学習を振り返りながら主体的に追究しようとしている。	・クラスの大多数の生徒が社会の授業に対する印象は肯定的であり、意欲的に学習に取り組めている生徒が多い。ただ、自ら疑問をもてたり、調べたりできる生徒は比較的少ない。

4 評価規準

知識・技能	・多様な自然環境や文化、産業が見られるアジア州について、地域ごとにその特色を理解し、地域間の違いからアジア州全体の地域的特色を理解している。
思考・判断・表現	・アジア州の国々が急速に経済発展していく理由を、人口増加や他地域との結び付きなどに着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。
主体的に学習に取り組む態度	・急速な人口増加や経済発展について、アジア州に暮らす人々に与える影響や、それによって生じる課題を、見通しをもち、学習を振り返りながら主体的に追究しようとしている。

5 指導及び評価、ICT活用の計画（全9時間：本時第8時）

過程	時間	■ねらい □学習活動 ★ICT活用に関する事項	知	思	態	◆評価項目<方法（観点）> ○指導に生かす評価 ●評定に用いる評価
つかむ	1	<p>■景観写真や雨温図等からアジアの地形や気候などの自然環境の特色について大観し、アジアの国々や自然環境などの基本的な特色を考察する中で単元の課題が設定できるようにする。</p> <p>□アジア州の経済成長の様子を示す複数の写真を活用して、疑問に思ったことや調べたいことを基に単元を貫く課題を設定する。</p> <p>★生徒用タブレットを活用して、生徒が複数の資料から疑問に思ったことや調べたいことを記入する。</p> <p>[単元・題材の学習課題・問い合わせ] なぜ、アジア州は急速に経済成長したのか。</p>			○	<p>◆景観写真等の複数の資料から得られた情報を基に、その地域の地域的な特色について主体的に追究しようとしている。</p> <p><観察・ワークシート・発言・生徒用タブレット端末（態）></p>
追究する	2	<p>■世界一の人口集中地域であるアジア州で行われている農業と育まれてきた文化について考え、まとめることができるようとする。</p> <p>□年間降水量と農業との関係を資料から読み取り、まとめる。</p> <p>□アジア州の宗教分布が多様であることを資料から読み取る。</p> <p>□本時の学習の振り返りと、「気になること」をクラウド型表計算アプリに入力する。</p> <p>[本時のめあて・課題等] 世界一の人口集中地域であるアジア州では、農業や文化にどのような特色があるのか。</p>			○	<p>◆降水量や農業分布、宗教別人口などの資料を活用して、地域の特色や関連性などを読み取り、自分の言葉で表現しようとしている。</p> <p><ワークシート・生徒用タブレット端末（思）></p>

		★クラウド型表計算アプリの活用 ★生徒用タブレット端末の活用				
追究する	3	<p>■巨大な人口を抱える中国の急速な経済発展が生じさせた社会の課題について、関連する資料から考え、まとめることができるようとする。</p> <p>□中国の市場規模や工業製品シェアなどを示したグラフや総生産額を示した図を読み取らせる。</p> <p>□省別・地域別の総生産額の図や、大気汚染の様子を示した写真から、中国が抱える課題についてまとめる。</p> <p>□本時の学習の振り返りと、「気になること」をクラウド型表計算アプリに入力する。</p> <p>★クラウド型表計算アプリの活用 ★生徒用タブレット端末の活用</p>	○		<p>◆様々な資料を活用して、中国の急速な経済発展と地域の変化について、考察しようとしている。</p> <p><ワークシート・生徒用タブレット端末（思）></p>	
		<p>[本時のめあて・課題等]</p> <p>巨大な人口を抱える中国では、急速な経済発展によって、社会にどのような課題が生じているだろうか。</p>				
	4	<p>■韓国の文化や産業の特色と首都圏への一極集中による課題について、資料から読み取り、まとめができるようとする。</p> <p>□様々な資料から、韓国の文化や産業の特色をまとめる。</p> <p>□輸出先の変化やソウル周辺の人口推移を示したグラフを読み取らせ、韓国が抱える課題についてまとめる。</p> <p>□本時の学習の振り返りと「気になること」をクラウド型表計算アプリに入力する。</p> <p>★クラウド型表計算アプリの活用 ★生徒用タブレット端末の活用</p>	●		<p>◆様々な資料から、韓国の文化や産業の特色を理解している。</p> <p><ワークシート・生徒用タブレット端末（知）></p>	
		<p>[本時のめあて・課題等]</p> <p>最も近い隣国である韓国は、生活・文化や社会と産業の変化において、日本とどのような関わりがあるだろうか。</p>				
	5	<p>■東南アジアの工業化について、外国企業の進出増加やその背景に関する資料から読み取り、まとめができるようとする。</p> <p>□進出した日本企業数の推移や進出の背景を資料から読み取らせる。</p> <p>□経済発展で発生する問題について、農村と都市の両方からまとめる。</p> <p>□本時の学習の振り返りと「気になること」をクラウド型表計算アプリに入力する。</p>	●		<p>◆東南アジアで急速に工業化が進んだ理由について、多面的・多角的に考察し、適切に表現している。</p> <p><ワークシート・生徒用タブレット端末（知）></p>	

		<p>[本時のめあて・課題等] 東南アジアの国々は、外国との関わりの中で、どのように工業化を進め、経済を発展させてきたのか。</p> <p>★クラウド型表計算アプリの活用 ★生徒用端末の活用</p>			
追究する	6	<p>■南アジアの文化や産業の発展を人口増加や経済発展と関連付けて考え、まとめができるようとする。</p> <p>□数学の教育水準や英語の活用、カースト制度との関連から、インドでICT関連産業が発達したことについて気付かせる。</p> <p>□本時の学習の振り返りと、「気になること」をクラウド型表計算アプリに入力する。</p> <p>★クラウド型表計算アプリの活用 ★生徒用端末の活用</p>	●	<p>◆南アジアの農業や工業の特色を資料から読み取り、産業の発展の様子について考察している。 <ワークシート・生徒用タブレット端末（思）></p>	
		<p>[本時のめあて・課題等] 人口増加の続く南アジアの国々は、どのような発展を続けているのだろうか。</p>			
	7	<p>■原油で得た利益を、交通・通信網の整備や観光業の発展などの分野に活用している背景について考え、まとめができるようとする。</p> <p>□グループ活動を通して、複数の資料を関連付け、西アジアの急速な経済発展を支えた産業について考える。</p> <p>■次時に向けて、既習の「気になるシート」から、探究したい課題を設定する。</p> <p>★クラウド型表計算アプリの活用 ★生徒用端末の活用</p>	●	<p>◆他地域との結び付きに着目して、原油の生産や輸出が西アジアや中央アジアの発展に与える影響について多面的・多角的に考察している。 <ワークシート・生徒用タブレット端末（思）></p>	
		<p>[本時のめあて・課題等] 西アジアや中央アジアの国々の経済成長は、どのような産業が支えているのだろうか。</p>			
本時	8	<p>■アジア州の学習で前時まで蓄積した、それぞれの学習の振り返りと「気になるシート」を基に、アジア州の急速な経済成長と関連させた課題について、友達と交流しながら再設定することができるようとする。</p> <p>□前時までに蓄積した「気になるシート」を基に、課題を設定する。</p> <p>□グループになり、設定した課題と課題を決定した理由について伝え、お互いにアドバイスし合う。</p> <p>□友達からのアドバイスを基に、生徒個々の課題を再設定する。</p> <p>□再設定した課題について全体で共有する。</p>	●	<p>◆単元を通して蓄積した「気になるシート」を活用しながら、友達と交流する活動を通して、主体的に課題を再設定している。 <ワークシート・生徒用タブレット端末・クラウド型表計算アプリ（態）></p>	

	★クラウド型表計算アプリ、ワークシートの活用 ★生徒用端末の活用				
[本時のめあて・課題等] 「気になるシート」を基に、友達と交流しながら自分の学習課題を設定しよう。					
まとめる 9	<ul style="list-style-type: none"> ■生徒個々の課題について追究し、自分の言葉でまとめることができるようとする。 □アジア州に関する基礎的事項を確認するとともに、社会的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。 □個人でまとめた内容をグループで意見交流する。 □全体で共有し、自らの考えを広めたり、深めたりする。 <p>★クラウド型表計算アプリの活用 ★生徒用端末の活用</p>		○	<ul style="list-style-type: none"> ◆自ら設定した課題について、意欲的に追究しようとしている。 <ワークシート・生徒用タブレット端末、クラウド型表計算アプリ（態）> 	

II 第8時の学習

1 ねらい 単元を通して蓄積した既習事項や「気になるシート」を活用しながら、自ら設定した「気になる課題」について、友達と交流する活動を通して、生徒が主体的によりよい課題を設定することができる。

2 展開

主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目(観点)
<p>既習事項を複数の資料から簡単に振り返り、本時の学習の「めあて」と前時に決定した課題について確認する。 (導入7分)</p> <p>S：なぜ、内陸部には経済特区を作っていないのだろうか。また、内陸部はどのように経済発展をしているのだろうか。</p> <p>S：ソウル周辺では一極集中が起きているが、日本の大都市には一極集中が起きているのだろうか。また、一極集中で急激に人が増えたが、どのくらい増えたのだろうか。</p> <p>S：東南アジアの授業ではスラムの生活の様子や大気汚染の問題が気になったな。</p> <p>S：南アジアの農村部の貧困層、読み書きができる人口の割合が高い理由をもっと詳しく知りたいな。</p> <p>S：西アジアの国々が石油などの鉱産資源をどのように有効に活用しているか気になったな。</p> <p>★パワーポイントの活用(複数の資料等を提示)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○複数の資料(写真等)やアジアカード(授業プリント)を活用し、既習内容を想起させる。 ○単元を貫く課題を再確認する。 ○本時のめあてとして、前時に設定した課題について、友達と交流しながら、よりよい課題を設定することを捉えさせる。 ○本時の主な学習の流れについて、以下の内容を伝える。 <ul style="list-style-type: none"> ・自ら設定した課題とその設定理由について、グループで伝え合う。 ・友達の考えに対して、アドバイスすること。 ・アドバイスを基に、よりよい課題を再設定すること。 ・再設定した課題に対しての「予想」や「探究するための情報」について小グループで検討する。 ○設定した課題について「気になるシート」や「ワークシート」を確認させる。

<p>★クラウド型表計算アプリの活用 ★生徒用端末</p> <p><めあて・課題等></p> <p>「気になるシート」を基に、友達と交流しながら自分の学習課題を設定しよう。</p>	<p>○毎時間設定した課題を入力した「気になるシート」（クラウド型表計算アプリ）については、以下のことを工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 【社会的な視点】 「共通性や相違性」「変化」「背景(原因)や解決策」を示す項目を設定しておく。
<p>2 課題が類似している者が集まるグループを構成し、設定した課題とその課題を設定した理由について伝え、お互いにアドバイスし合う。 (展開①13分)</p> <p>① 少数のグループになり、課題を設定した理由について伝え合う。 ② 課題について、グループ内でお互いにアドバイスし合う。</p> <p>S : 中国の内陸部と沿海部の収入の差の変化の様子も調べてみてもいいかも。 S : ソウル周辺の一極集中を防ぐための取組や、多くの地域が同じような生活をしていくための国の対策を加えると、よりよい課題になるかもね。 S : 交通渋滞や大気汚染が起きている原因や解決策を調べるとより詳しくなると思うよ。 S : 南アジアの国々でICT関連産業が発達した背景について知れるといいね。 S : 西アジアの国々と日本との経済での関連を詳しく調べてみるといいかも。 S : アジア州の経済発展について、昔と現在を比較してみるとわかりやすいと思うよ。 S : 日本の経済がどのように変化(発展)してきたか調べてみたいね。</p>	<p>○1グループの人数は3名以内とし、設定した課題と設定理由について順番に説明するよう伝える。なお、グループ構成については類似した課題を設定した者が集まるよう、教師が事前に割り振りをしておく。</p> <p>○補充的な手立てとして、課題が設定できない生徒には友達の学習課題や考えを参考にしてよいことを伝える。</p> <p>○アドバイスを終えた生徒には、他の生徒へ助言等を行うように促す。</p> <p>○適宜、机間支援を行う。</p> <p>○「よりよい課題」について、アドバイスし合う際に以下の内容(①、②、③)に留意させる。</p> <p>① 単元を貫く課題である「なぜ、アジア州は急速に経済成長しているか。」を意識した課題になっているか。</p> <p>② 【社会的な視点】が入っているか。 「変化」「相違性」「課題と解決策」等</p> <p>③ 友達の課題に対して、異なる「社会的な視点」について提案しているか。 ④ 友達からアドバイスしてもらったことをワークシートに記入するよう伝える。</p>
<p>3 友達からのアドバイスを基に、自分の課題を再設定する。 (展開②10分)</p> <p>S : 友達からのアドバイスを参考にしてもう一度考えてみよう。 S : 友達からのアドバイスのおかげで、社会的な視点が増えたり、新しい考えに気付いたりすることができたな。 S : 課題について、早く探究していきたいな。</p> <p>★クラウド型表計算アプリの活用 ★生徒用端末 ★ワークシートの活用</p>	<p>○友達からのアドバイスを記録したワークシートをもとに、自分の課題を再設定するように指示する。(理由も記入させる)</p> <p>○クラウド型表計算アプリやワークシートに記入させる。</p> <p>○再設定した課題を全体で共有する。</p> <p>○数名の生徒を指名して、感想を述べさせる。</p> <p>◆評価項目</p> <p>「気になるシート」を基に決定した課題について、友達からのアドバイスを生かして再設定している。 (クラウド型表計算アプリ・ワークシート・発言)</p>

<p>4 他者からのアドバイスを基に再設定した課題 に対して、「予想」や「探求するために必要な情報」について検討させ、今後の課題探究への意欲を高める。 (展開③10分)</p> <p>S : 予想:自分の課題に対する予想は○○と思うな。</p> <p>S : 情報:解決するためには○○の情報が必要かな。</p> <p>★クラウド型表計算アプリの活用</p> <p>★ワークシートの活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○グループで検討する。 ○個人の考えを基に、グループ全員で自由に発言して検討するよう促す。 ○検討した内容をクラウド型表計算アプリやワークシートに記入させる。 ○「予想」や「探求するために必要な情報」については、例文を示しておく。 ○数名の生徒を指名して、発表させる。
<p>5 本時の学習を振り返る。 (終末 10 分)</p> <p>S : 自分の課題が友達からのアドバイスのおかげで、社会的な視点が入ったり、より具体的な課題になったりしたかな。</p> <p>S : グループで予想や探求するための必要な情報を考えたことで、頑張って課題を調べていきたいと思った。</p> <p>S : インターネットを活用して、必要な情報を集めて探究していくこう。</p> <p>★クラウド型表計算アプリの活用</p> <p>★生徒用端末</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習の振り返りをクラウド型表計算アプリに記入させる。 ○数名の生徒を指名して、本時の学習の振り返りを発表させる。 ○課題については、家庭でも取り組んでよいことを伝える。 ○補充的な手立てとして、以下の内容(①、②)を伝える。 ① 他者の考えを参考にしてもよいこと。 ② ワークシートに記入してもよいこと。

3 板書計画

単元の課題：なぜ、アジア州は急激に経済成長してきたのか。

めあて：「気になるシート」を基に、友達と交流しながら自分の学習課題を設定しよう。

～学習課題の再設定までの流れ～ 揭示

- ①前時までの学習内容と「気になるシート」を基にした個人で設定した学習課題の確認をする。
- ②設定した学習課題について友達とアドバイスし合う。(※アドバイスを行う際の「社会的な視点」 等)
- ③友達からのアドバイスを基に、学習課題を再設定する。
- ④再設定した学習課題に対する、予想や探求するための必要な情報についてグループで検討する。
- ⑤本時の振り返りをする。

※導入の場面、追究する場面、まとめる場面において、隨時、ICT(パワーポイント、クラウド型表計算アプリ、生徒用端末)を活用したり、モニターに反映したりする。

※「社会的な視点(変化、相違性、課題と解決策等)」を掲示する。